京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

發行所　京城西署西小門通（電話六六三）　京城新報社

雜報

前外相と合邦論

李完用の刺されたるを聞き前外相林伯曰く李氏は地方官在職中より隨分非難攻擊を受けたる人なれど今回の刺客は恐らく一個の私怨に依るにあらずして政治上の反對者に依りて行はれたるものなるべし果して然らば予は其の一進會の態度なると然らざるとを問はず韓國政界に於ける忌むべき爭鬪の慘劇甚となれる一證として輕々に看過する能はざる事なりとす韓國の現狀は我が維新前に同じく國論の歸一を缺ぎ人心頗る險惡なるを以て伊藤公の暗殺に次げる李總理の遭難は必ず第三第四の兇行を惹起するなるべく甲黨乙黨互に剌し相殺すの結果は韓國の人心をして如何の狀態に陷らしむるや知るべからず實に寒心の至りなり予は近來韓國に行はるゝ合邦論に就ては深き智識を有するものにあらざるも日韓合邦は自然の勢にして何人も之を止むる能はず日本の朝野は合邦論に重きを措かざるもそは合邦論に反對なるが爲にあらずして合邦論者に十分なる信用を拂はざると合邦の時機尙早しと云に止まる現政府當局者の如きも恐らく又然らん而も日本が愼重の態度を取れば取るほど韓國人民は益疑懼の念を增長し其の政治家は合邦非合邦を藉口に政權を爭ひ互に血を流して戰ふに至りてはいつまでも悠長に構へ居る譯に行かざるなり日本が韓國を誘掖指導するは其の人民の安寧幸福を增進せんが爲に外ならず而して今其の人民我が統監政治に依りて幾分か從來の惡政より救はれしも未だ其の堵に安ずるの場合に至らず然るに其の政治家は又權政の爭ひよりして陰險なる喧嘩を事とするを見る之を傍觀して韓國の政界を混亂せしむるは不仁極るものにて我が對韓政策の根本義に背反せり故に予は我が政府が此の際斷然其の執り來れる穩和政策を一變し韓國合併を實行して永久に其禍根を絶たん事を希望す政治は活物なり特に外政は守株膠柱を忌む時勢人心の變に應じ速かに方針を決定し斷然たる處置に出づるは小にして日韓大にして東洋の安寧策なり予は平和に汲々たる列國の今日となりては我此の一擧に對し何等の異言なきを信ずるものなり

北韓だより（五）

▲有望なる雄基港　淸津港居留民は港灣の不完全なるを自覺せずして只發展のみを企てんと夢想を懷き市街地の擴張、道路の改修等のみを施しつゝあり港灣に就いてる防波堤を築造に從事しつゝありと雖も其は單に棧舟を容るゝに足るのみにて荷役に對しては却つて益なくて害のあるものなりと某船員の如きは常に口吻し居れり即ち淸津港は風波を遮きるべきだけの地形ならざると一つは風波なきに日本海よりの余波高くして其れがため屢々艀の轉覆する等の危險なる事あり尙淸津在留民夢想しつゝあるは羅南を以て唯一の消散地として皺へ居る事なり今吾輩の羅南觀は一個師團の駐屯地である是れには相當の地方人も入込むは當然の樣なるも一個師團の駐屯と言はば少なくも一万五千人の兵士の在るも樣に誰しも豫想するならんも實の處、個聯隊も駐屯して居らぬ他は悉く分遣して居る唯師團司令部が存在するばかりである、故に羅南は夢想する程の土地にあらざるは一たび羅南に足を入れたものは直ちに過去の夢を呼び起すは常とせり然らば會寧及び東間島方面に對する商賣は如何と云はゞ該地方の商人は淸津商人に依らずして日本との直接取引を開始し居るが故に淸津にては只通關すると云ふ點にのみ止まる又輸出品の七より觀れば既往と對照するに輸入の十分の一だに及ばざるは稅關に於ける統計の示す處なり是等の點より推察を下する時は淸津將來は先づ疑はしきものと云ふて可なり茲に於て法律第十九號實施後に最も有望なるは雄基港を以て先づ第一位と看做さゞる可らず即ち雄基港は淸津港よりは港灣としても良く國境貿易上より尙更ら有望にして渾春地方の輸出入共雄基港を通過するは勿論なればこれがために從來淸津に居住たりしものも大分雄基港に移住し來り新たに渾春貿易を開始せんと計畫しつゝあるもの多數なり之等の關係より渾春交通を完全ならしむるために雄基港より土里まで輕便鐵道を布設し豆滿江を利用し渾春との通路を開かんと與論中々燃んなり然し豆滿江を利用するは春夏秋の三季にて冬季間は結氷なるが故に終點より直ちに牛車にて輸送する事を得るを以て冬季間は輸送甚だ便なり又一方には同じく豆滿江を利用し西水羅より渾春まで小蒸汽船を通はせ運輸の便を計らんとの二說出で居るもかくなる時は冬季間に於て運轉中止せざる可らざるが故に目下の處にては輕便鐵道布設に傾注し居るもの丶如し何れの點より觀るも今後に於ける國境貿易は雄基港を以て最も有望の地と斷言して差支なし（社友報）

雜錄

初春と餅と酒　むら

酒は季節を有せず、歲を通じて流行飲用せらるゝも、然かも正月より向ふ三ケ月間程甚だしく歡迎せらるゝ季はなし、餅に至りては實に正月を以て其の全盛期となさゞる可らず。

然り而して此所一週日を出ですして此の兩つのもの丶全盛期は來らんとす、吾人豈に此の兩者の爲めに一言歡迎の辭なくして可ならんや。特に此の兩者に平均に嗜好と趣味とを有せる予に於て特に然りとなす。

祖先以來長き習慣性をなしたる吾人は如何に芽出度初春を迎ねたりとて、膳上一陶の酒と、一椀の雜煮とを缺ぎたらんには、芽出度春も甚だ不芽出度き寂寞の感に打たるゝを禁ずる能はざるなり、放浪十年時に此の寂寞を事實に於て感得するの機會に遭遇したる予は此の機會を利用して、如く斷言するの權利と光榮とを有す。

餅に扁平なると半圓形なるとあり、食ふには扁平なるを歡迎し、飾るには半圓形（予の自選句）を歡迎す、前者は三ケ日にして二升量を欲し、後者は可成大ならんことを希望す、其の二升量を限るは下卑藏の予、美味に眩惑して胃を損するあらんを懼るればなり、後者の大なるを希望するは一つは其の景氣の壯なるを念じ、一つは藏して春の日永にポツリ〳〵食らんの深謀遠慮よりしてなり、予の餅を知り、餅を愛する實に斯くの如し。

酒に至りては多々益々多きを歡迎するも、二日醉の苦しきを思へば三ケ日一斗が程を適好とす、聊か少なきの感あらんも回禮して醉ふて戾ることを算當に入れたるが爲めなり。

鴨に芹を配して餅を雜煮にし、呑み口を捻つてトク〳〵の音を聞き、れ屠蘇は拔きにして熱燗を味ひ、知友と相對して芽出度うと叫ぶ時、人の心に春は來る也。

平素酒を嗜まざる人も餅を前にしては盞を傾けたくなるべし、餅を好まざる人もれ目出度うの聲を聞きては一片を食ふを辭せざるべし、醉ふて炬燵に眠り、餅に飽きて戶外に羽子をつく、斯くして人の世に春は來る。

血腥かりし四十二年は逝かんとして、れ目出度き春の餅と酒とを思ふことせいろなり。

日本銘刀傳

第六席　邑井一講演

馬「ヤ、是れ〳〵手前が今死んだから孝子の手疵が癒るのではない、もし五郎を生かしたくば其方の命を犧牲に孝子の手疵の癒るやうに一心籠めて神佛に祈つたら宜い、萬一其方を殺して宜い其時は、此の父の手に掛けて殺して遣る」と刀物を取上げました、れ秋は死ぬにも死なれず、兎に角醫者を呼迎ねろと弟子を走らして醫者を迎ねて來たれ秋は直ぐに衣類を脫棄てゝ井戶端に立出で、頭から水を浴びる、弟子一同も『五郎さんの病氣を癒すのだ、れ女房さん一人に水を浴せてなるものか』と皆々井戶端へ出て水を浴びて、高らかに『高宮の稻荷太明神樣、五郎さんの病氣の癒るやうに願ひます』と言つては水を浴びる、井戶端は急に繁昌だ釣瓶が少ないので　甲『オイ〳〵早く釣瓶を貸しねヱ　乙『今遣るよ、待ちねヱ〳〵　丙『俺が水を掛ける役になつてやらう』と一人の職人が水を汲んではザブ〳〵〳〵〳〵一同へ浴けて居る、一同聲を揃へて『南無、高宮の稻荷大明神樣……』と祈つて居る、イヤ五郎の人氣は大したものだ、座敷の方では外科醫者が五郎の疵を見て　醫『是りやあ十三にしちやア疵が大きく過ぎる、何うも助かれば宜いが、鬼に角縫つて見やう、事に寄ると變が來るかも知らねゑ　行「變が來ても宜いから縫つて下さい　醫「宜しい、縫つて見ませう」縫ひましたが別段變も來ない、不思議なことは其後は段々と好くなつて、一同の祈念の力もあらう、又五郎の身体の丈夫の所もあつたからでありませうか、日ならずして疵口も癒ねて本復したので皆々の喜びは一方ならず、床上げの祝ひや何かして大層な騷ぎでありますれ秋はまるで生れ變つたやうになり、我が生みの子の新太郎より五郎の方を可愛がるやうになり、非常に家内が睦まじくなつた、是れも五郎の孝行の德であると云ふので、五郎の名前は高くなりました、五郎は一生懸命に刀を鍛つことを勵げんで居る、彼方からも五郎さんの鍛つた刀、此方からも五郎さんの刀と注文があるけれども、まだ修業中であるからと云ふので、一切斷つて居ましたが、然るに伊豆の下田の鄕士で大倉さんと云ふのが、五郎の孝行なことを聽いて、番頭の忠七と云ふのを以て「何うか悴が今度袴着の祝ひをする爲めに、五郎さんにあやかるやうに五郎さんに脇差を鍛つて貰ひたい」と云ふ注文、行光は「何うも御安いことは云ひたいが、五郎にはまだ燒刄を渡すことを敎ねてありませんから私が鍛ちまして五郎に合槌を打たせませう」と云ふと「イヤ其行ひにあやかりたいのだから何樣なでも宜いから鍛つて見れ」と云ふので、そこで五郎に燒刄を渡すことを敎ねる、十三歲で始めて鍛つたのがなか〳〵好く出來た、是れは五郎に槌を取らせ行光が向槌へ廻つて鍛つたのであるけれどなか〳〵の出來で、此事京都に迄知れたので、十五歲の時れ佩刀を鍛つことを命ぜられ、是れも好く出來たので、五郎の名は益高くなりました。



京城新報

厄年將に逝かんとす

俗に云ふ四十二年は男の厄年なり、この厄年殘る數日にして將に逝かんとす、余輩は例に依つて本日を以て筆を擱かんとし依つて聊か本年の厄年なりし所以を畧叙せんとす。

人或は言はん明治四十二年は日韓兩國共に大厄年なりしと事實は然らん、然れども此の大厄年の年に於て日韓兩國民共に事業の衰色を帶べるは事實なり、農民は米價を抱きながら前歳に追はれ商工業者は不景氣と連呼す之れ全然厄年の厄に[illegible]

一般に就いて言へば上述の如くなるが特に韓國の經營に就いて言ふ時は余輩は厄年に於ける厄の最も悲惨なりしを思はずんばあらず、三年有餘苦心して統監政治の逐行に勉めたる伊藤公は他の猛烈なる批難に耐へずして遂に六月其の職を去るに至りたり而して曾禰統監が其の後を引受け產業殖產策を標榜して立ちたるに於て余輩は統監の健全なる處置振興に官が一世を風靡せんとするを觀て大に其の意を得たりと喜べり必ずや伊藤公の遺策を繼承し新統監の實質ある政治と大替へらるゝものと信じたるも不幸にして曾禰統監は就職後間もなく病褥中の身となり其の今日に至るも未だ全治せず隨て官吏產業政策の實現せしむるに至ると雖も韓國銀行の設立京元三南の鐵道布設及び司法委任等の事は本年に於て決定したる仕事にして日韓兩國の國利民福に[illegible]事は之れと云ふて殘る取立る程の事は出來能はざるに之れに反してハルピンに於ける韓人の伊藤公暗殺事件あり又近く一連の輕卒なる合邦騷ぎより又繼いて李完用暗殺事件等あり日韓關係は退步するかより寧ろ非常なる速度を以て進步するの狀態を示せり斯は實に慰しむべき事なり斯く觀じ見れば本年は實に韓國經營の大厄年なりしなり而して此の大厄年を現に負ひ而も前記の出來事のみにて經過し得たるは寧ろ不幸中の幸とも云ふべきか古聖云く艱難汝を玉にすと四十二年中に於て得たる幾多の苦しき經驗は我が官民をして將來半島經營上に就いて大に悟る處あらしめたるなるべしと信ず。

四十二年將に逝かんとす余輩は此の多事なりし一ヶ年を如何にして送りしかを思へば感慨無量[illegible]如何ども爲に他に不問はず因て余輩は我官民が本年中の經驗に依つて發明し得たる處を以て此際一層の勇氣を鼓し古きを送り新しきを迎ふるの覺悟を爲さんとす。

對韓同志の警告

東京電報

對韓同志會は左の警告書を曾禰統監に送り更に實行委員長、長谷川芳之助氏は桂首相に會見して其寫を提出し意見を交換せり（二十六日午後）

曾禰統監閣下[illegible]韓民の塗炭に苦むや[illegible]而して我れ宗主權を行ひて之を更革するもの[illegible]歳か[illegible]くは制令の末に馳せて德澤の韓民に普洽せず是れ吾人の深く慨する處にして韓人志あるものゝ[illegible]ざる處也夫れ韓國の[illegible]者は累代惡政を施し國破れ人怨む而して[illegible]の直接韓民に及ばざる隔靴搔痒のみならず[illegible]者決然起つて合邦の[illegible]を擧げて我皇化に浴[illegible]情誠に苦く其聲實に[illegible]むを得ざるに出づ我[illegible]无惕の心を以て之を[illegible]爲選策なきを期すべ[illegible]て斷せずんば大局の[illegible]からざるなり何ぞ之[illegible]のゝ何人にして之に[illegible]誰なるを問ふの遑あ[illegible]く我統監府は合邦論[illegible]る猜疑を抱き而して[illegible]を迫害して至らざる[illegible]何等の亡狀ぞ奏議の[illegible]論に關す何ぞ之れが其理由なきや甚しき彼[illegible]果して韓民一部の間[illegible]や或は慫に閣國を風[illegible]べきや唯皆に彼等の[illegible]べし漸じて韓政府及[illegible]て其横暴を恣にせし[illegible]を以て大に合し弱を[illegible]野を去り文に化せん[illegible]て予來して我に赴朔[illegible]て顧みずんば決し[illegible]あらざる也　謹言

報

三南線分岐點決定

●大屋管理局長の談●

曰く三南線の分岐點[illegible]太田とするやと云ふ[illegible]太田を分岐點と爲す[illegible]り起工する時は錦江の難工事あるのみな[illegible]經費を以て着手せん[illegible]猶豫せざる可からざ[illegible]に於て難關に遭遇し[illegible]行の運るゝは悅ぶべ[illegible]れに反して太田より[illegible]の數は多くなるも小[illegible]之れを同日に語る可[illegible]里道哩數は長くなる[illegible]且つ鐵道建設者側よ[illegible]くして經費を多く要[illegible]を可とす附近居[illegible]は多く顧慮せざるなり南滿鐵道の如きも即ち此方針なれば從ふて三南鐵道も忠南公州の如き線路より殆んど除外せらるゝに至るべし若し現在の鐵道經營者にあらずして私立會社等が三南線を建設するものとせば太田は借て措き鳥致院よりも寧ろ全義又は小井里を分岐點となすを可とす何となれば私立會社か之れを計畫するものとせば現在の京釜鐵道との利害を全然別視することを得るが故に線路の延長することを寧ろ得策とすべければなり先年白石博士等が三南線を測量したる當時に於ては同地方は暴徒の出沒盛んにし危險頗る多かりし爲め博士等が最初の計畫通り單に鳥致院より測量したるのみにして太田との比較測量をなさゞりしが如し

京元及三南線共議會に於て政府の設計通りに經費が決定すれば十一ヶ年を以て竣工せしむる計畫なるも斯くては余りに前途長ければ或る程度迄は期間を短縮して運巧より拙速を期し豫定の期限までに完成せしむる方針なり（京通）

韓國の酒類釀造

韓國酒類釀造の研究中にあるは既報の如くなるが目下同釀造試驗中の物十八石あり何分試驗中の事故未だ具體說話すべき事能はざるも其成績は概して善良なり其風味の如き釀造上細心の注意を拂ひし結果却々佳良なり今後益研究改良の遂行に伴ひ良化さるゝ事は疑を容れず殊に釀造法の簡易にして貯藏の便利なるとは遠く日本酒の及ばざる處にして一面又た風味も日本人の口に適するが如し改良大成の曉には韓人が日本酒を嗜好するよりも反つて日人が韓酒を歡迎するの奇現象を現し來るやも知るべからず△葡萄酒●是も目下試驗中にあるが頗る收斂に富み其の風味に於ても極て佳良にして日本產の遠く及ばざるのみならず米國產をも凌駕し尙ほ同酒本場のボルドーの壘を摩せんとするの觀あり是れ韓國が葡萄樹栽培に極て適當せるの致す處にして今後葡萄酒の釀造は韓國に於ける有數の特產品たるに至らん△櫻桃酒●も同樣試驗中にあるが風味却々佳良にして色味共一見葡萄酒の如し是未だ研究の結果新なる一產物に數ふるに至るべし（鳥井技師談）

韓國警務の擴張

韓國地方警務擴張の必要ある事は何人も認むる所なるが政府に於ても愈々四十三年度に於て一大擴張を斷行する事に決定し其經費として前年度に比し二十一万九千余圓を增額したり今擴張の方針を聞くに警察署十六箇所、駐在所八箇所を增置し此に配置すべき人員は日人警部十六人日人道緖譯官四八日八巡查九十六名韓人巡查百三十六名醫師五名を增員すべしと因に來年度擴張後の地方警務機關を記すれば警察署百〇三分署一駐在所三九三、人員日人警視五、日人警部百二十二、韓人六十八、日人道緖譯官十九、韓人道緖譯官五十三、日人巡查千六百十四、韓人巡查二千六十七、醫師六十六となる尙此の外清韓國境の警備に充る警察官十五名を增すべし又警邏船を新に五隻購入釜山元山其他の沿岸警備に充つる由

連累者續々逮捕

京城監獄へ收容せられて後も尙不遜の豪語を放ち連累者に關しては緘默を守りて毫も答ふるところあらざりし李在明も係官の嚴重なる究問に包みきれず共謀者に關する一二事項を自白したるより檢擧の火の手は八方に擴がり連累者續々逮捕せられつゝあり尙一面犯人の妻吳仁星及び同人の學友金元鎬を種に所在搜索中なりし李東考は兇行前夜李在明、金龍文と共に笠井洞白召史方に一泊して密議を凝したる者にて本事件に尤も密接の關係あり警視廳にても之が逮捕に全力を傾注したる爲め漸やく所在を突止め引致したりとの風評ありされば日ならずして本事件の眞相明らかとなるべく從つて連累及び教唆者等意外の邊より出づべしと

研究會彙報

時局問題研究會發表後入會申込者多數に上りつゝあるが同會は

▲○評議員推選○常議員の外評議員數十名を增設することに決し既に會則を改正したれば近々京城民團議員、商業會議所議員、其他有志者を評議員に推撰する筈なり▲各地へ飛檄○　同會は各居留地の輿論を喚起する爲め各民團長、商業會議所會頭、新聞社長に飛檄して同會の趣意に賛同せんことを求めつゝありと△來春の活動○　同會主催の政談演說會は既報の如く都合に依りて延期したるが右は李首相遭難の椿事等ありて人心動搖の恐あり爲め其の筋の注意を受けたるためなるが來春早々は或る方法に依りて新活動を開始する筈なりと云ふ△常議員の增置○　常議員會に於て常議員一名を增置することに決し宇都宮高三郎氏（京城通信社長）を選定したり

入院後の李總理

●菊地大韓醫院長の談●

李總理の容態は昨日來時々血を交へたる痰を吐くに至りしが是れ肺部に銳刃を以て傷を受けたることなれば豫じめ斯くあるべしとは期待したることなるも肺炎を起し來るにあらずやとの杞憂あり熱度は八度內外に昇りたるも脈膊は百呼吸は二十四乃至五にて前日來に異なりたることなく食慾は生雞卵の黃昧及稀汁の極少量にて談話は別に差支なき樣なれども肺部に故障あることなれば必要止む可からざることの外は之れを嚴禁し居れり昨二十七日午前十一時繃帶を交換して傷口を調べたるも化膿の跡なかりしも今后の經過に就きては前記の如き容態なれば此處三四日は最も注意を要すべき日時なりと

●本年中學部の成績

△七月●　實業學校令施行規則を制定頒布し又普通學校令師範學校令高等學校令高等女學校令及外國語學校令の各施行規則の全部を改正す△觀察使會議を開く△本月より八、九月に亘りて普通學校教監會議を各道所在地に開催し本部吏員をして臨席せしむ△京城、平壤、大邱に普通學校教員講習會を開設す△九月●　官立仁川實業學校規則を制定す△官立農林學校を文官任用令に基き認定す△虎疫流行の爲め本部に臨時疫防掛を置き在京城の官公立學校豫防消毒法を施行せしむ△十月●　學部大臣李載崐職を辭し李容植學部大臣に任ぜらる△官立漢城高等女學校學則、同漢城師範學校講習科規程を廢し新に官立漢城師範學校補習科規定、同普通學校補習科規程を設く又官立漢城高等學校學則、同平壤高等學校學員、同漢城高等女學校學則、同漢城外國語學校學則を制定す△隆熙四年度曆二十二萬五千部の印刷を了し全國に於ける各販賣人に配布す△十一月●　伊藤公爵國葬の當日全國各學校に訓令して授業を廢し哀悼の意を表せしむ司法部の廢止に依り同部所管の法官養成所の引繼を受け法學校と改稱して授業を繼續す△新に官公立學校職員服務須知を制定して服務並に人事に關する處務の統一を計る△學部編纂教科用圖書發賣規程を改正して賣下方法を簡易にし發賣人の利便を計る△再び吏員を全國各道に派遣し學事を視察せしむ▲十二月●　普通學校職員須知綱要、普通學校に於ける女子教育施設方針、普通學校補習科施設方針、普通學校職員一般學校關係者に指示することゝせり以上の外全年に亘りて施行したる重なるものは私立學校の設置認可及補助、學會の認可、教員無試驗檢定、教科用圖書の編纂、檢定、認可、鄕校直員の任命及學校並に教監舍宅の工事等にして之が統計を示せば左の如し▲私立學校の設置認可　申請件數二千百八十七、內認可件數千九百四十九▲私立學校の補助　補助校數三十六、補助總額五千三百十六圓▲學會の認可　申請件數二十七、內認可件數十六▲教員無試驗檢定　出願者二百名、內合格者百二十二名▲教科用圖書の檢定　處理件數三十四、內許可件數二十六▲同認可　處理件數三百四、內認可件數二百五十二▲鄕校直員の任命　任命人員三百十一人▲校成工事　直轄學校の增築二、普通學校の新築三、教監舍宅工事二十

●統監邸の新婚披露

曾禰子爵の二男寬治氏は今回芳川伯四女鎌子の婿養子となり東京にて結婚式を擧げ相携へて入韓せるが去る二十五日統監邸にて新婚披露の宴を張れり寬治氏は現に日韓瓦斯電氣株式會社の營業課長たり又夫人鎌子は學習院女學部出身の才媛なり當日は兒玉伯、佐竹男主人側として鄭寧に來賓を迎導したり來賓の人々は統監府各官衙韓政府の勅奏任官東拓及各銀行會社重役民團民長會議長商業會議所正副會頭等無慮二百餘名にして午後一時三十分開宴、生憎曾禰子爵には微恙の爲め菊地大韓醫院長代理となり新夫妻を紹介し石塚長官來賓を代表して答辭を述べ芳川曾禰兩家門の萬歲を祝願し一同三鞭の盃を擧げて萬歲を三呼せり會場は花月、掬翠、清華各樓の美妓數十名酒間を斡旋して頗る盛會を極め午後四時散會せり

●記者團宣言書發送

京城記者團は過般商業會議所に於て發表したる合邦問題宣言書並に決議數千部を印刷に附し我が各大臣、樞密顧問官、貴衆兩院議員、各新聞社其の他官民重立ちたるものに發送したりと

●歷史科生徒の渡韓

既報の如く廣島高等師範學校歷史科生徒十三名は數人の職員に伴はれ昨夜八時入京今日市內各日韓小學校を巡覽し夫れより平壤に赴き歸途仁川を經て來年學期始め迄に歸國する由なりと

●四年度地方費豫算

隆熙四年度地方費豫算は慶北の九万圓を筆頭とし各道共それ〴〵認可を與へたるが總額六十餘萬圓を計上する由

●郡衙移轉經費支途

郡衙移轉の經費は度支部に於て豫算に編入せざりし爲移轉の都度豫備金中より支出し補充科目として取扱ふ由なり

●關釜連絡船の延着

二十六日釜山に入港すべき連絡船遲着に付き今夜終配達の郵便物は一晝夜遲延し昨二十七日の終配達となりたり

●吊詞訓諭等の頒布

學部にては伊藤公の兇變に關する詔勅、吊詞、訓諭等を一纏として印刷に附し各道官公私立學校へ夫々數千部頒夫す

●內部の賞與と昇給

內部の昇給賞與は廿六日發表されたり

●榊原憲兵隊長歸任

地方出張中の同隊長は二十六日歸任す

●米副領事の結婚●　京城駐在米國副領事ゲールド氏はコーチリアス氏の令孃と婚約成り卅一日結婚式を擧ぐる由

●中川檢事正移轉●　地方裁判所檢事正中川一介氏は西小門官舍へ移轉せり

歲末の金融狀況

●●日本人商業會議所調●●

△日本人側金融●　當京城に於ける金融狀況を觀るに本春來母國經濟界不振其他幾多の影響を受け一般商工業の不振に伴ひ例年末に比すれば頗る緩漫にして差したる資金の需要起らず概して平靜の狀態にありと云ふの外なし然りと雖も本年は母國及韓國の豐作に伴ひ米價暴落を見るに至り年末に際するにも不係貿易商側及精米業者等にありては多少見越買入れをなすものあるに至り又近來歐洲に於て製油の原料として大豆の需用大に起り意外の輸出を見るの有樣にて旁々幾分資金の需用を喚起し爲めに不振なりし金融界に向て稍活氣を添へたるの感あり而して一般商工業にありては久しき不況に連れ不確實なるもの漸々陶汰せられ各自其取引方法を一變し大口なる仕入又は從來の如く掛賣亂賣減少し比較的巧妙に難關を切拔け居るを以て著しき逼迫を見ず從て對銀行取引の如きも今日の處圓滿に行はれ居るが如し今本月二十日現在日本人側三銀行に於ける預金貸金高を擧げ昨年と比較すれば左の如し

●預金●

區別	年別	四十二年十二月廿日現在	四十一年十二月廿日現在
日本人側三銀行		五、〇三四、九三四	六、六八九、八五〇

●貸金●

區別	年別	四十二年十二月廿日現在	四十一年十二月廿一日現在
日本人側三銀行		一、六九九、一〇〇	三、九五四、四七〇

前表の外第一銀行より韓國銀行に引繼ぎたるもの預金に於て三百七十六萬八千餘圓貸金に於て七十三萬九千餘圓を有す是れ官公所に係るもの多しと雖も叙上の如く大勢に於て順調の傾向を示し預金增加貸金減少の狀態にあるを以て兎に角近き將來に大に發展すべく潛勢力を養ひつゝあるは明なり故に歲末に際するとも雖も特種事情あるものを除くの外逼迫を見ず無事越年するならむ

△韓人側金融●　當京城に於ける韓人側金融狀況を見るに元來無資力にして遲鈍なる彼等金融界は特記すべき程の事なしと雖も目下大に逼迫の狀態にあり然れども對日本人取引を除くの外彼等相互取引は總て舊曆なるを以て未だ甚しく逼迫を感ぜざるが如し近時彼等は漸々其資產を減少し今や全々邦人に因て資金の供給を仰ぎ居るの有樣なり然るに兩三年來邦人間に於ける金融逼迫の情勢を受け同時に對韓人貸附金の如きも專ら回收の一方にて更に貸出を爲さず加之本春來支那商人が貸資禁止申合等著しく打擊を被りたるが如し以上幾多の影響は一般韓人をして沈靜に陷らしめたる顯著なる原因を爲せり今や漸くにして米豆の放賣に不振の中にも多少の活路を求めた以て大に金融逼迫を見るならむ

●井上書記官辭任　宮內府書記官井上雅二氏は今回辭職すべしと云ふ

●大屋夫人の歸韓　鐵道管理局長大屋權平氏夫人敎子は二十六日歸京

●白石靖氏の退京　滯在中の憲兵少佐同氏は二十六日退京釜山へ向

●掛札季[illegible]氏入京　平壤農銀支配人の同氏は二十六日入京山本旅館に投宿

●有賀貞雄氏入京　陸軍步兵少佐同氏は二十六日入京浦尾旅館へ投宿

●取消文

拜啓本月廿四日發行貴新聞掲載獰猛なる平壤入と題する拙者の談話は相違の廉有之候に付[illegible]を掲げ御取消し相成度候也　明治四十二年十二月廿五日　菊池武一　京城新報社御中

▲治外法權▼

廿四日本紙掲載の獰猛なる平壤入と題せる記事に對し中相違の廉ありとて菊地商工局長から取消文を寄せて來た記者は喜んで取消文を掲載した、火事は兎角ボヤに消すに限る▲今や日米間は互に善を表示しながら奧齒に物の挾まつた樣な妙な中になつて居る、前に遣米公使クレエン氏の對日失言発官沙汰あり、近くは大連駐在米領事の對日報告關係召還事件あり、稍ともすれば鶴唳不絶の事が盛からんとして居るのである、斯る際に於て我官民の心得べきことは米政府及び米人に對する[illegible]動を一層慎重にすることである、[illegible]なき事から兩國間に誤解を生じ膽[illegible]が海坊主に見る樣になつたらソレ[illegible]不幸此上なしだ▲曾禰寬二君が芳川[illegible]の令孃と結婚して姓も芳川と改め[illegible]祝賀會が一昨日統監邸であつた、記[illegible]曾禰統監の子息でなく瓦斯電氣會[illegible]番頭たる寬二君を亭主にした芳川[illegible]令孃を偉らしとする、兎角今頃の[illegible]の姫達はどもすれば男爵の奇麗な[illegible]官の妻になりたいなど誤託くる[illegible]が多いからだ▲李完用に對する說[illegible]內地新聞所載の分は鶴原君のが一[illegible]當だ、只伊藤公が完用を見出した[illegible]ふ丈は事實に相違して居る▲宗[illegible]東京の策士連から見放され昨今は[illegible]の田舍に隱れて居る、ソレから[illegible]血の廻り惡しき朴泳孝が濟州島に[illegible]で居る方が餘程幸福だろー▲伯林[illegible]劇場で春氣發動期と云ふ藝題を演[illegible]い男女の肉交の場を見せるソーで[illegible]寫實もコー極端になつては鼻持が[illegible]ぬ▲本年の本紙はコレデお仕舞だ[illegible]權子は讀者各位の無事越年を祈る



熊さんと語る

▲車夫の年末觀

なアにれ節さん俺し等にれ正月なんかゝ在つた者ぢやありません年が年中大晦日でさアだから裏個の大晦日が來たからつて別に驚きもしません幾ら貸が用るからつて典物様にも物はなしと云ふて借り様にも貸し人がないと云ふ次第ですから勢ひ大した借金も為様にも為れない譯でさア、外目には悲慘な様に見ねませうが之で中々暢氣な者です、御大家の旦那様たア少々ちやない大分違ひますからね取る金がない替りに遣る金もなし時々蹴込の中で頭痛になるなアたツたの一軒借用借りのれ顔の利ける酒屋の拂いが四升五合ですから幾何になりますかね一升五十錢のエー二圓二十五錢が是れだけの事です併し幾ら暢氣は暢氣でも考へて見りや隨分不濟らねゑ話でさア、赤い顏して人が醉て廻る中を俺しら紋日で走り廻らにやならんのですからね、まア三ケ日を一生懸命で梶棒握つた四日目が冷酒の一升も空になるかと云ふんですかハツ〳〵ハ戯談ぢやね俺しやまだ生れて以來其麼錢勘定を為た事アムいやせん幾ら勘定を為て見た處が毎も不足する錢が殘る譯でもなし其麼球盤を持つて居た日にや胸糞が惡くつて一日だつて商賣は出來ませんや無きや無いまゝ有れば有りつたけの事まア〳〵飲んで喰ふて其の日が過ごされりや可いわと云ふ丁見でさア併し齢を年つてから困りはせんかつてねハツハツハ笑はかしなさんな是れが俺、獨りの了見ぢやなし梶棒でも握つて往うと云ふ位の野郎は十が九迄皆此の位の了見でさアね其れだからと云つて腕が弱つて野倒れ死を為たと云つた樣な話も滅多に聞きませんや何のびく〳〵するにや當りません世の中は可く為た者で上は上、下は下で怎うなり斯うなり形は決いて往きますからな、嚊アですか、わ郷里に居りますよ、而も倅が二人も―そりやれ前さん田舍ア場所と違つて組合の者なり親類の者が怎うか斯うか養なつて呉れますよ、亂暴ですつてねそりや亂暴かも知れませんさ併し本行なりや詮方がないぢやありませんか俺しだからつて好で其麼事を為るんぢやなしね、ハツハツハ何俺の番だ、可し來たさ熊さんは些か頭を下げて此の寒いのに腰も輕くれ客先きにとがらく車を引出た(一記者)

毒藥自殺未遂

▲原因は離縁されし為め
▲先夫の店先にて服毒

一昨二十五日午後〇時頃大分縣東國東郡大内村四ノ二百一番地平民目下京城櫻井町三十三番戸大工職豊田仲吉長女ケサノ(二二)が元内縁の夫たりし岡山縣生れ當時櫻井町二十四番戸居住の薪炭商砂田石次(三三)方に於いて鹽酸モルヒ子を服して自殺を企てたる騒ぎあり、該急報に接して係官の出張なしたる際には既に賛化堂副院長古城氏出張應急手當中にて藥物の大半は吐出せしめ居たりと聞く處に據れば自殺者ケサノは昨四十一年九月上旬頃前記砂田石次方へ入嫁したる者なるが或る事情の伏在せる為め今日迄未だ入籍の運びに至らずして内縁の儘にて過し來りし處去る二十日同人の父なる豊田仲吉と夫石次との間にて示談の上離縁話し整ひたりと云ふ然るに其の翌日午前十時頃ケサノは只一人にて砂田方へ尋ね來りたるも砂田は同町雜貨店へ所用ありとて言葉を交へずして立出でたる為めケサノは失望して一旦其處を立出で午後〇時頃再び尋ね來りたるが其際砂田は帳簿記載中にて此を見たるケサノは突然「白紙一枚呉れよ」と申出でしかば砂田は何心なく一枚の白紙を與へたる處懐中より何物かを取出し服藥せし模樣なるにぞ前後の事情より推斷なしたる砂田は或は自殺を謀るには非ずやと俄かに恐れを抱きて警察へ訴への途中電話にて賛化堂へ往診を依頼せりとの事なり藥物の出所及原因等は初め醫師出張未だ昏睡狀態に至らざる以前同醫師及び父仲吉共々尋ねたるも「聞く必要は無いぢやありませんか」とのみにて何事をも口に為ざりし故聞くを得ざりしと元來石次ケサノ兩人の夫婦仲は至極親密にして喧嘩口論等を為せし事なしとの事なれば要するに之が原因は自殺者の家元と夫石次との折合上より今回の離縁沙汰に至りたる為め遂に世を恨めしく思ひたるの結果ならんとの事なりケサノの經過は良好にして生命には別狀なしと

製鹽所で刃傷

▲會計係を斬らんとして

朱安製鹽所官舍の工事に從事しつゝある京城黄金町居住の大工福島貞市(二六)と云ふは一昨日午前十時頃金錢上の事より同所會計係の瀧川某と爭論を初め遂には懐中せる短刀を拔き放ちて瀧川某に切り附けんとしたるにぞ命あつての物種と瀧川は後をも見ずして逃走せしが件の福島は尚ほも後より短刀振翳して追跡しあはや瀧川なるもの肩先を切り附けられんとする刹那横合より之れも同所工事に從事せる左官の高橋喜三郎(三二)と云ふが矢庭に福島を抱止めんとせしに亂暴にも福島は高橋の背部左側に長さ二仙米突深五仙米突の肋膜に達する刺傷を負はせたる騒ぎに警官出張加害者は仁川署に引致し取調べに着手し被害者は濱井病院にて治療中なり

▲新年の本紙▼

元旦の本紙は全紙有益にして趣味ある記事を網羅し之れに精巧なる寫眞版多數を挿入し、且つ附録として極彩色優美なる双六を添ゆることゝせり、若し夫れ内容に至つては敢て茲に手前味噌を言はず讀者之を當日の紙上に徴せよ

編輯局

●不埒なる腰辨 南大門通り一丁目一番戸小淵磯吉方止宿の通信管理局傭人横山茂次郎(二七)は一昨二十六日午前一時頃美洞十一統九戸酒幕李鎔方にて二十錢銀貨一枚を投り出し是れにて酒を飲ませよとて該金額程を飲み盡せし上遂には此の家にて宿めよと云ひ立てしかば李は宿泊料を請求せしも右金は與へずして強て泊り込まんとなすにぞ李は是を押し止めんとして遂に小格闘を生じ着衣五寸許を破られたりさて李は承知せず本人同行之れが損害を訴へ出でしかば双方御目玉頂戴の上放還

●怪しき韓人の放免 韓國大邱西門街李和明(二二)通稱山田今市なる者が

去る十四日午後六時半頃徳山東嶺崎町にて擧動不審の為め徳山署に引致され不審の金時計を所持し居り浮浪罪にて拘留五日に處せられたりとの事は既報の如くなるが種々取調の結果犯罪の證據不充分なる為め金時計は徳山署にて預り置き同人は一時放還したりと

●金塊の裁判 怪しき出所の金塊一貫目餘を持參して仁川市中を彷徨ひ居たるを仁川署刑事に取押へられ仁川地方裁判所にて審理中なりし前原長彦、增田光五郎の二名は一昨日公判開廷の結果詐欺取財の罪名にて各懲役六月に處刑されたりと

●韓人乞食の凍死 南部賢坊小公洞圜丘壇南門下乞八金生根なる者は兼てより長谷川町附近の路傍にて起臥し居たるが去る廿五日飢餓と寒氣の為め遂に凍死なしたり

●筑前琵琶の教授 筑前琵琶教師井上霞曉氏は是迄當地旭町四丁目一番地京城月友會本部指南鶴崎賢定師の許にて教授中なりしが來る一月五日より南大門外中央に支部を設け專ら斯道の擴張を計り希望者に對しては懇切叮嚀に教授するよしなり

●一月の各劇場 既報の如く釜山座は中村福圓の座頭に眼若、梅女、福三郎、菊三郎等加り初日狂言は前高根雪伊達實記、式三番双引敍暗闘り、中幕、野崎、切り吉野山正行開居、三つ面所作事等なり▲壽座は伊東文夫一派と極まり過般死去せし吉野小二郎の後へは目下九州地方巡業中の佐藤蔵三一座の立女形小水野正美入座する由同優は水野好美の高弟にして新派中屈指の女形なりと▲歌舞伎座は目下未定なれど噂ありし愛澤は多分平壤で越年するならん▲龍山座は雲井、小喜多村等の大一座と傳へられしが見合せとなり田宮貞雄に其邊の落武者を加へて開場する由▲仁川歌舞伎座は源氏節芝居を招くとの事▲大邱錦座は鈴木蘇州、峯松信夫等にて開場▲横研 京城座の技藝主任たりし例の横山研太郎は一月より伊東文夫一座に加はる由

●仁川檢番の新妓 仁川一山本店の抱藝妓松助事大阪生れの長崎マツエ(一九)は一昨日より敷島遊廓内同支店より源氏名を松助と名稱りて秋の鑑を拂ふ事になりたりと▲れかめより廣島生れの大西キク(一四)は小久と名稱りて現はる▲朝日樓に於ては内地より奇麗首數名を仕入れたれば來年早々店出する筈

●一昨日の敷島と新町 仁川敷島遊廓登樓客は四十二名此消費高は百六十九圓九十六錢又新町遊廓各樓の水揚高は嫖客百二十二名に對して六百三十八

圓四十七錢なり

●新年の壽座 同座は伊藤文夫一座にて大發展を行ひ俳優側には水野好美の門下にして女形として○○○の美貌と藝風とは新劇界に嘖々たる小水野正美及び泉英外數名を招き狂言は粹を撰びた左の通り上場の筈▲元旦(一)史劇「船坂山」兒島高徳)一幕(二)悲劇「思ひ違ひ」五幕(三)喜劇「美術工藝」一幕▲二日●家庭劇「親の愛」八幕▲三日「善惡二ッ巴」八幕

▲本紙の終刊 明治四十二年も餘す處僅かに三日となりたれば本號を以て終刊となし、更に來年元旦を俟ち正裝して再び讀者に見へん

編輯局



◀平民文庫▶

▲本月廿五日發行貴新報第二百九十七號紙上三面五段平民文庫欄内に於て弊店に關する記事掲載有之右は事實大に相違致居候のみならず店舗引揚の際は何れも懐を肥やし云々とあるも刻下の店員中廣島支店以來の者は一名の外無之全然中傷的の記事と認め候條此全文を掲げ速に御取消相成度此段及請求候也 明治四十二年十二月二十六日 京城本町四丁目 合資會社杉本吳服店 京城新報社御中▲御自分で仰云るからには間違ひ御座るまいイヤ間違つてるか何うかは兎に角取消しを申込まれたから右の全文を右の通り掲載して速に取消します(係)▲本町通りを歩行くには餘程注意しないと衣類も何も滅茶〳〵になります、ストーブを焚くので煤烟が雨と降るので烟突掃除をシッカリ願ひたい(通行人)▲芳川寛二君、では判

吉凶鏡 本町五丁目 三一館判

十二月廿八日舊十一月十六日五黄友引壬戌開△一白 没要領の日なり新事反變更凶尚旅行依頼相談金談等徒勞に歸す△二黒 依頼懇願に逢ふて煩累あり集團結合婚姻等吉其他平凡△三碧 館話澁滯多し家庭内に波瀾若くは煩累あらん△四緑 新事見合の事賣買取引上間違を惹起す勿れ△五黄 非運の日なり謹愼處辨すべし投機的射倖的行為爭紛を戒しむ△六白 義に驅られて損害煩累を引受くあらん過失其他の什寶を毀損するあらん△七赤 盛運の日なり事業始め命名披露等大に妙家畜兒女の監督に留意すべし△八白 心臓の遲鈍を戒しむ其外平凡△九紫 散財事多し旅行轉住凶音信異事を報するあらん

十二月廿九日舊十一月十七日六白先負[illegible]日なり大抵の[illegible]し其他子女の為め[illegible]△二黒 平靜の日なり秘密事は効なし遺失紛失防ぐべし△三碧 不穏の日なり謹愼を要す證券類の事留意すべし△四緑 盗害横領を防ぎ負傷なきようすべし總じて不安の日とす△五黄 疎漏過失を生じ職務上失体あり酒色賭事を堅く禁ず△六白 受任受托等を受くる勿れ又人より爭又は疑にあふあり△七赤 中傷誣妄防ぐべし人より強き競爭にあふあり△八白 憤怒を生じ易し又精算上紛爭起り易し△九紫 近親朋友の身上に付き世話又は心配事あり新事發更の事凶

十二月卅日舊十一月十八日七赤佛滅甲子建△一白 榮達の日入學門婚姻開体成立に最も妙負傷防ぐべし△二黒 家庭又は家族に些少の世話事あり其他吉△三碧 取引交際上に紛紜衝突起らん總じて不振の日なり建築治金に吉△四緑 下僕配下の事に付き配慮あり尚業務上見込違の事多し△五黄 貸借保證事損害間違起り易し其他平靜△六白 家庭内に煩累あり轉業轉住變更改革妙△七赤 人より疑念を挾まるゝ勿れ尚盗害横領防ぐべし△八白 旅行開業開店入學門仕官相談依頼等効あり不動産に關する事凶△九紫 不振の日なり新事見合の事冶金鍛金錬金の事吉

十二月卅一日舊十一月十九日八白大安乙丑除△一白 衰運の日なり新事變更の事効なし取引金品授受紛紜あり△二黒 不和衝突を防ぎ引受世話事を禁ず△三碧 音信小驚若くは小累を報するあり爭論負傷防ぐべし△四緑 破れ易き日なり新事見合すべし共同組合婚姻の事凶△五黄 狐疑して機を過まる勿れ職務上疎漏ある勿れ△六白 爭端を啓く勿れ其他順進の日なり大抵の事吉△七赤 人より無心懇願にあふあらん概して盛運なり契約相談等整ふ△八白 新事變更の事凶酒色盗害を防ぐべし△九紫 榮進の日なり大概の事吉農業林業には最も妙

●取消● 貴社新報本月廿四日發兌第二百九十六號紙上其三面四段に於て丸京吳服店の暗闘と題し弊店及一部の店員に關し文意甚だ穏ならざる記事を掲載せられたるは頗る其の異想を誤りたるものにして抑ゝ弊店が曩に貴社始め各新聞社に廣告發表せし見世仕舞に就ては方今の趨勢に鑑みたるの時に或は隠りの命令を斷行したるのみ時に或は隠然反對の行動を致てせしもあるも苟も管理者の命令範圍に拮据すべき店員として豈如此觀易き道理を解せざるものあらんや畢竟何者か為にする中傷と認め候條至急此全文を掲げ御取消相成度此段及請求候也 明治四十二年十二月廿五日 京城本町四丁目三十九番戸 合資會社杉本吳服店印 京城新報社御中

●天氣豫報(自廿七日午後六時至廿八日午後六時)
北東風曇但少雪
廿六日(華氏) 最高溫度 二六、六 最低溫度 五、九

新[illegible]模様(の雪)ふくり
歳暮御進物用適當品荷着
明治町[illegible]
電話千四百九番
[illegible]あり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部
●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所
●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社(四九〇)
●望勤務 病院又は醫院藥局へ ケーチー生(四九三)
年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

物件部
●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊の廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)
●貸家 北部齊洞廿九の四貸家あり宮內府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ貯蓄上候
●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ
●電話讓渡たし 氏名在社(四九六)
電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 福井

廣告

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戶
箱信事 漢城病院下橫へ入ル
鳥山商店

電話開通 牛鍋 壹人前金拾五錢 スキヤキ 四人前金八錢 御一人前金 御鍋 五
永樂町二丁目菊正宗
植鳥 御料理 鍋店

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

質ながれ衣類
大安直澤山あり
大觀商店
曙町(元大韓日報筋向)

三一館
焦心覃志多年爲斯道於難險與旨恍然似有得者矣推聽斷吸吸茫洋辭意淵勝業面輕淺也
京城本町五丁目
易斷觀相教授
館主 土御門派大陰陽寮

京城代辦店 本町四 山口吳服店 電話九號
明治廿年七月創立●
東京火災運送保險株式會社 (海上)
資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

御正月用品着荷
▲▲御宮堂並に御神前用品一式
漆器類一切和洋蠟燭
其他何品によらず一切取揃居候間多少に不拘御注文仰付られ度伏て奉懇願候
●聯合大賣出し加盟店●
荒物世帶道具商
西崎嘉七本店
京城本町六丁目
電話二一〇

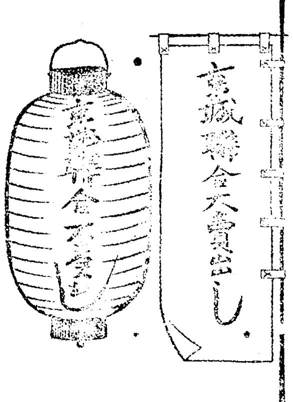
石川商等[illegible]校閲
今村內部[illegible]閣下校閲
[illegible]
◎印刷鮮明 ◎類集整然
◎校正嚴密 ◎携帶便利
統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
◎全一冊◎紙數凡六百頁○袖珍半截形◎定價金六十錢
右發賣鋒開以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し既刊の至りに候就ては猶一層奮發致し六目を協約、官制、官規、官等等級並俸給其他請給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日を以て現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して最も出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か斯類に顯ゆるの缺を志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り紀本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回御報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

▲忘年新年宴會は梅の家に限る▼
……破天荒の大勉强……
どんな少數の御宴會でも丁寧に、何程多數の御宴會でも粗餐のなきことは梅の家の獨擅ですから、取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます
御料理 梅の家
大和町三丁目(電話七三五)

電話開通 一三九四番
鋤燒 御一人前 金二十五錢
此の外何んでも輕便ご安直ごを以て御客樣には極て叮嚀ご親切に御つこめ申上ます故に忘年宴會や新年宴會には何卒御遊旁御光來の榮を賜り度奉願候
會席御料理 花の家
京城北米倉町

京城聯合大賣出し
歳末に際し顧客各位の盛運を祈り且平素の眷顧に酬ゆると共に市况の繁榮を圖らんが爲十二月一日より同三十一日迄左記の方法に依り全市聯合大賣出しを開催致候間左記の目標を揭げある加入各店にて御買入被成下度此段奉願上候

加入店目標



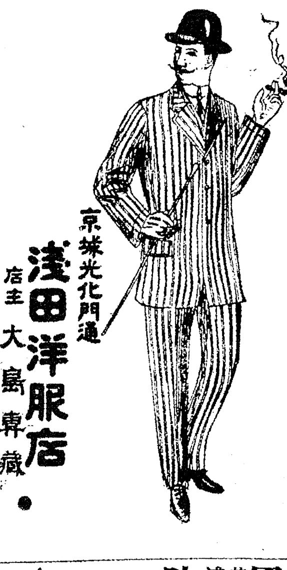
景品
一等 金三千圓(債券)
二等 金一千圓(同)
三等 金五百圓(同)
四等 金二百圓(同)
五等 金一百圓(同)
六等 金五百圓(各店商品切手五拾本)
七等 金二千五百圓(各店商品切手貳千五百本)
以下空籤なし

御買上金五十錢毎に景品券一葉進呈仕候

賣出期間 明治四十二年十二月一日より同三十一日まで
抽籤期日 同四十三年一月七日 京城日本人商業會議所に於て各新聞社及公衆立會の上
景品引替期日 同一月八日より同三十一日迄

京城聯合繁榮會
(京城日本人商業會議所內)

開業祝として一割引
かいまき・まわた
進物用眞綿・眞綿製防寒具類
京城代理店 栗永商店
京城本町一丁目(長谷川町へ通る)



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十二番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
蛋白脂消化勝 ゲスチンヂ 錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
御問屋 唐川商店
京城明治町一丁目四ッ角
電話二六一番

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
大上商店
京城本町五丁目
(電話二五一番)
和洋酒、◎精酒、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物類食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽荒物特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
株式會社十八銀行京城支店
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
(電話四二〇)

韓國 日本
本店 長崎市榮町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番戶
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、[illegible]
東山道 彥根、八幡、[illegible]、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎
北陸道 大聖寺、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、宮津、富山、伏木、新潟
山陰道 米子、境、松江、久手、大田、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取
山陽道 玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、姬路、西大寺、笠岡、高梁、龍野、牛窓、味野、岩見、岡山、平生
南海道 尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山
西海道 久留米、若津、飯塚、博多、福岡、若松、直方、行橋、後藤寺、中津、小倉、門司、伊萬里、牛津、佐伯、別府、大分、宮崎、鹿兒島、長崎、佐賀、八幡、長洲、熊本
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社
仁川瀛船出帆廣告
電話十番
●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 一月十五日午後三時出
●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月 三日午前六時出
●大連行 酒田丸 一月 三日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 神立丸 十二月廿九日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店